

東海道相州大碓驛
郡役所

山口左七郎様

急報

謹啓

套語省畧未免

可之云云相之送

日著京後直之

書藉購收之

而已、お免、官文

當、庶、弗能勝

也、有、洋藉、之、價

非常、お昂、之、土

六年以前、有、昭、

三倍、以上、之、お城、居、心

三倍以上之長居心
付甚く當惑致
し因テ東京ヲ有
志、書林ナル西宮
氏、亦豫ル古本
等ヲお集メサセ
り、亦調フツル
思フ外、時りお
解リ、是加之得
書中、宝ハ餘満
學及自由之理、如
ハ、高直、捌切レ
ニテ、部トテ、一
冊ヲ、重子、ワ
リレ、有、捌、立
サセ、製、本、ハ
致、ツ、有、付、甚
ク、付、ハ、有、ツ、有
漸、リ、ミ、テ、今、朝、通

漸ゆるぎ々々今朝通
運社つ荷物ものお托

しひひ十五り迄まで

着荷きり覚さ束たナナト

存ぞん之し信しん付つ同どう名な了り

延のびりる子こ古こ書しよ更さら更さら

二ふた書しよ報ほう通つうししととふふ手て

教しやうへ

〇是こ是こ送しやうお調てう店てん

心こころ更さら之し書しよ書しよのの重おも郵ゆう

着き小こ中ちゆう中ちゆう起おき

お酒しよ付つ心しん

相あひ書しよ藉しよ之し荷かのの

漸ゆるぎ々々お托たかししととたた

江え今け自みづか個ごノノ行李りやうぎ

ハハ来きりりお整しやうととふふ子こ

小こ法はふハハ家け事じ之し

始はじ末まハハ概がい界かいハハ片ぺ

此は、家事之
始末を概略する
所なり。其の
成り付く急ぎに
此の家を子に
二条あり。其の
所業を以て所
事と申す。十九日
迄、在京録録に
間、諸君を以て
此の所業を以て
二十日迄、此の
共済村の仕心得
に、此の因り南
に、此の村の仕
日有り。此の日
可致の所業を
此の所業を以て

此の所業を以て

主とて思ふ

つゝ其囑之彼
今保子とて舊

同僚初税為水

税部と長南方

書紙書中込

以迄の按ふ様

確報の得る為

おとろくうとて

中込の官に

と年数、餘り老

々々頸と女側と長

つゝ何とて頻る

お迫り試とて

心先の古伝と

概男とて老ゆ

つゝ同とて不静

十月十三日

一、何^{トカ}頻^ニ

有^リ與^リ試^ミ

心^ヲ先^ニ古^ノ件^ニ

概^{シテ}男^ノ女^ノ考^ヘ

2、以^テ同^ニ

不^レ聲^ニ

十月十三日

澤田

お名

山口契兄

早^ニ以^テ

於^テ今朝^ノ、勅^シ禱^ス

如何^ニ其^ノ悔^ミ色^ニ

力^ヲ多^ク物^ヲ拂^テ去^リ

、遠^ニい^テ如^ク可^ク



東京市東區湯島

移^リ居^ル丁^ノ三^ノ番^ノ地^ニ

澤田